土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川　太田川水系　貞岡川　砂防事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R2-BS-3	調査位置	広島県東広島市志和町別府　地内			北緯	34° 28’ 31.0977″
発注機関	広島県西部建設事務所　東広島支所			調査期間	令和2年12月 1日～ 令和2年12月 3日	東経	132° 37’ 38.8269″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 295.85m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	25° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-C型
総削孔長	7.00m								エンジン	ヤンマー　NF-110EK型	ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	295.55	0.30		砂質土		暗褐	rd1		表土 ・最上部は腐植混じる黒褐の腐葉土 ・砂は細-中粒砂、細粒分を伴う	
1				礫混り砂質土		暗褐	rd1		崩積土 ・礫はφ10-40mm程度の中-粗礫が混入 ・基盤地質の花崗岩質礫が主体、クサリレキ点在 ・砂は細-中粒砂、場所的に粗粒砂分を含み粒径幅広く粒度不均一 ・GL-1.80-3.20m間、暗褐灰を呈す細粒分やや優勢で腐植混じる旧表層土	
2										
3	292.55	3.30								
	291.95	3.90		礫混り砂質土		黄褐	rd2		崩積土 ・深度方向に粒径粗粒化し基岩に漸移 ・礫はφ10-40mm程度の中-粗礫が混入	
4	291.45	4.40		花崗岩		淡褐			黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織明瞭に残存、採取試料は土柱状	
5	290.35	5.50		花崗岩		淡褐			黒雲母花崗岩弱風化岩(CL) ・採取試料は短柱状主体 ・場所的に風化核残留状を呈すが脆く、掌またはハンマーの軽打で岩片-礫状に圧潰	12/10 5.60
6				花崗岩		淡褐				
7	288.85	7.00							白亜紀後期黒雲母花崗岩(CM) ・節理面の一部は暗褐色に変色し、黄灰色の膠着物及び流入土砂の薄層が挟在 ・岩相比較的均質な細粒黒雲母花崗岩 ・岩質やや硬質で岩片-短柱状を呈すが、一部のシーティングジョイントでは風化し土砂挟在状を示す ・水平-緩い斜状の節理が不規則に発達	
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1			1/300		
	1.45						
1	2.15	1			1/300		
	2.45						
6	3.15	1	2	3	6/300		
	3.45						
50以上	4.15	14	36	50/80	50/130	180	
	4.33						
50以上	5.00	50			50/40	40	
	5.04	40			40/0		
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/2
				12/3